

編 集 後 記

- ◆きべりはむし第31巻第2号をお届けします。発行が大幅に遅れてしまい、申し訳ありませんでした。とくに早くから原稿をいただいていた方々にはご迷惑をおかけしました。
- ◆本誌はこれまで1巻2号を基本として年2回発行の形を堅持してまいりましたが、今後その方針は変わっておりません。ここ2回ほどは発行時期が遅れ、若干変則的になっていますが、引き続き第32巻の編集に取りかかりたいと思いますので、原稿をどしどしお寄せくださいますよう、よろしくお願いいたします。
なお、次号の発行時期につきましては、12月半ばを予定しております。現行の締め切りは10月末日とさせていただきます。
- ◆今年は、近畿中部あたりでは完全な空梅雨、しかし、北陸方面では記録的な豪雨になりました。昆虫の世界にも地球温暖化の影響は確実に忍び寄っているようです。昔は珍しい存在だったクマゼミ、クロコノマチョウ、ナガサキアゲハ、ツマグロヒョウモンなども、今では普通種になってしまいました。ここ10年、20年を振り返ってみると、南方系の昆虫の定着が急ピッチで進んでいるようです。
- ◆近藤伸一さんからは、八鹿町(現養父市)におけるチョウ類のトランセクト調査の結果の報告がありました。この方法はルートセンサスとも呼ばれ、種の多様性や自然度の評価に応用できる手法として、最近注目されつつありますが、同じコースで10年、20年とデータを積み重ねることで、時系列的に自然の変化を評価することもでき、温暖化の影響を評価するにはいい方法だと思います。
皆さんも身近なフィールドで実践してみたいかと思いますが。
- ◆今回は、立岩幸雄さんからウラナミジャノメとヒメウラナミジャノメの観察記録、竹内隆さんからはギフチョウの蛹の発見と、地道なフィールドワークの成果をお寄せいただきありがとうございます。今後のご活躍を期待しています。

◆次回の「きべりはむし」の発行は2004年12月です。原稿は常時受け付けています。e-mailでも原稿を受付けていますので、気軽に御一報ください。短報はメモ程度でも結構です。

(編集担当 高島 昭)

きべりはむし 第31巻 第2号

2004年6月30日発行

発行：兵庫昆虫同好会

編集：近藤伸一・高島昭

事務局、原稿送付先：

〒671-2201 姫路市書写2542-2 高島 昭 方

e-mail akira-takashima@mti.biglobe.ne.jp

郵便振替口座：01170-3-26646

印刷：岩峰社・東京